

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス しまほーぶ			
○保護者評価実施期間	2026/3/15		～	2026/3/25
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2026/3/15		～	2026/3/20
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/27			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの個性や特性を大切に、それぞれの「好き」や「得意」を伸ばせるような関わりを心がけています。遊びや活動、日常の関わりを通して、子どもたちの発達段階に合わせた療育的視点を取り入れながら支援を行っています。子どもたちが安心して自分らしく過ごせる居場所づくりを大切に自己肯定感やコミュニケーション力、社会性の成長につながる支援を心がけています。	方について職員間で情報共有を行っています。活動中の様子や気持ちの変化、支援方法などを話し合いながら、それぞれの児童に合った関わりができるよう努めています。また、職員同士で支援の方向性を確認し合うことで、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりや、継続した支援につながるよう意識して取り組んでいます。	導や、ダンス講師による活動を取り入れながら、子どもたちのリズム感や体幹、身体の使い方などを楽しく学べる機会を設けています。現在も継続して行っている取り組みですが、今後も子どもたちが楽しみながら身体を動かし、自信や達成感につながる活動として継続・充実を図っていきたく考えています。
2	職員一人ひとりが子どもたちに優しく丁寧に、気持ちに寄り添いながら支援を行っています。子どもたちの不安や思いを受け止め、それぞれのペースに合わせて関わることで、安心して過ごせる環境づくりにつながっています。また、必要な場面ではしっかりと向き合いながら支援を行い、子どもたちの成長や自立につながるよう、一人ひとりの特性に合わせた指導や声かけを心がけています。職員間でも日々情報共有を行いながら、子どもたちを温かく見守る支援を大切にしています。	宿題を行う部屋と遊びを行う部屋を分けることで、子どもたちが活動の切り替えをしやすい環境づくりを行っています。空間を分けることで、「今は勉強の時間」「今は遊びの時間」といった時間や活動の感覚を子どもたちが理解しやすくなるよう工夫しています。また、落ち着いた宿題に取り組める環境と、安心して楽しめる遊びの環境をそれぞれ整えることで、子どもたちが無理なく活動に参加できるよう意識して支援を行っています。	いては、キリスト教の「一人ひとりをかけがえのない存在として大切に」という精神を大切にしながら支援を行っています。今後も、その思いを支援の中でより深めていけるよう、職員同士で学び合う機会や研修の機会を増やし、子どもたちへの関わりや支援力の向上につなげていきたいと思います。
3	工作や外遊び、ダンス、身体づくり活動など、さまざまなプログラムを取り入れていることも事業所の強みです。子どもたちが楽しみながら参加できる活動を通して、コミュニケーション力や身体機能、感覚面、社会性など、多面的な成長につながる支援を行っています。また、子ども一人ひとりの発達段階や特性に合わせて、「健康・生活」「運動・感覚」「人間関係・社会性」などの視点を意識した療育的な関わりを取り入れ、子どもたちの「できた」「やってみよう」とい	日々の清掃や消毒などを継続して行い、衛生面や感染対策に配慮した環境づくりに努めています。また、子どもたちが安心して過ごせるよう、室内の安全確認も定期的に行っています。特に、窓ガラスや鏡の周辺については、安全面に十分配慮しながら見守りや環境整備を行い、活動中も安心して過ごせるよう気を配っています。	外の環境整備や安全確認を継続して行っています。活動スペースの使い方や環境設定についても見直しを行いながら、子どもたちが落ち着いて過ごせる環境づくりに努めていきます。また、庭周りについても定期的な草刈りや環境整備を行い、必要に応じて業者への依頼も行いながら、清潔で安全な空間づくりを進めていきたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	少人数で運営しているため、支援内容によっては人員体制に課題を感じる場面があります。一方で、小規模だからこそ職員間の連携を密に取りやすく、一人ひとりの子どもの様子を共有しながら支援を行っています。今後は、より安心・安全な支援体制を整えるため、業務の見直しや人材確保に努め、子どもたちにとって安心できる居場所づくりを継続していきます。	えています。そのため、曜日や時間帯や活動内容によっては職員配置に余裕が少なくなる場面があります。また、夏休み等の長期休暇期間は利用時間が長くなり、活動内容も増えるため、通常時以上に人員体制の確保が課題となっています。子どもたちが安心・安全に過ごせる環境を維持するため、職員間の連携や業務調整を行いながら、継続的な人材確保や支援体制の充実に取り組んでいく必要があると考えています。	園庭については、子どもたちが安全に安心して過ごせる環境を維持するため、猫の糞害対策や定期的な草取りなどの環境整備を継続して行っています。また、園庭の状態を定期的に確認しながら、衛生面や安全面に配慮した環境づくりに努めています。
2	活動内容や利用人数によって、少しスペースが狭く感じられる場面があります。保護者様からも環境面についてご意見をいただいております。そのため、活動に合わせた机やスペースの配置変更、静かに過ごせる場所づくり、整理整頓による空間確保などを行い、限られたスペースの中でも子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを心がけています。	事業所の建物や活動スペースに限りがある中で、利用児童の年齢や特性、活動内容の幅が広がっており、時間帯によっては空間が狭く感じられる場面があります。また、静かに過ごしたい児童と身体を動かしたい児童が同じ空間で過ごすこともあり、環境設定に工夫が必要な状況があります。	活動スペースについては、限られた空間の中でも安全に過ごせるよう、活動内容や人数に応じた配置の工夫を行っています。また、ガラス面や鏡の周辺については、安全確認や見守りを行いながら、安心して活動できる環境づくりに努めています。鏡については、子どもたちの身体づくり教室やダンス活動などで、自分の身体の動きを確認できる大切な役割もあるため、安全面に十分配慮しながら活用を継続していきます。
3	今後も、子どもたち一人ひとりが安心して楽しく過ごせるよう、環境面の工夫や改善に継続して取り組んでまいります。	日頃より清掃や環境整備は行っていますが、活動内容や利用人数によっては細かい部分まで十分に対応しきれない場面があります。子どもたちがより安心して快適に過ごせる環境を維持するためにも、定期的な大掃除や整理整頓の機会を増やし、環境美化に継続して取り組んでいく必要があると考えています。	避難訓練や緊急時対応マニュアルについては整備は行っていますが、保護者様にもより安心していただけるよう、閲覧しやすい形での周知や共有方法を検討してまいります。また、避難訓練実施時には、実施日時や訓練内容について保護者様へお知らせを行い、事業所での安全への取り組みを共有できるよう努めていきます。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス しまほーぷ

公表日 2026/5/22

利用児童

数 2026/5/15

回収数14

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	3			もっと広いといいなあ。	現状で、施設の拡大をすることは困難ですが、物の配置や動線などを考え、使いやすくしたいと考えています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく整備された状態にあると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	1			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供している支援内容と合っていると思いますか。	13		1			
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13		1			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13		1		送迎については最近高学年になったので、徒歩で帰ったり、孤立を促すなどあっても良いかもしれないと思います。	ご本人の年齢や発達段階、安全面、ご家庭のご希望を踏まえながら、少しずつ一人で行動する経験なども検討してまいります。放課後等デイサービスとして安全確保を最優先します。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13		1			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	2	1			
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	12	2				
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14					
保 護 者 へ の 説 明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	2	1			
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13		1			
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	3			
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	2				
	23 事業所では、事故対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2	2		訓練があるかはわからないです。	年に2度、大規模による災害を想定した避難訓練を行っています。すべてのマニュアルは事業所に取り置き、必要があれば閲覧いただけます。
非 常 時 等 の 対 応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2	1		訓練があるかはわからないです。	所の掲示板に貼り出しています。子供達と共に年に2度避難訓練を行なっています
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	1		海や水場での活動にどのような付加価値があるのか不安ではある。	外遊びでは安全第一に考え、子どもたちが安心して遊べることを心がけています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13		1			
	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	14					
満 足 度	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2				
	29 事業所の支援に満足していますか。	14					

